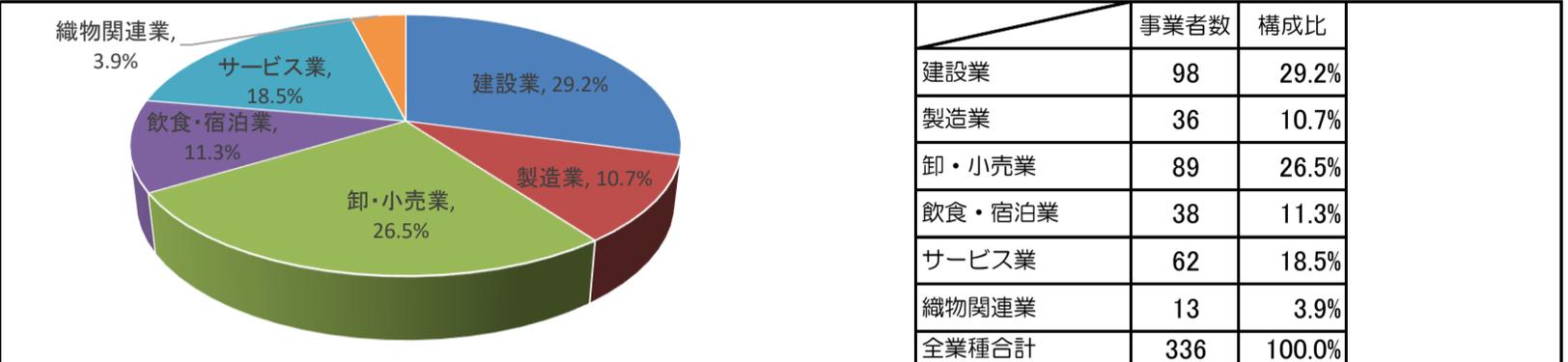


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R5.4.1~R5.6.30) 会議所地区

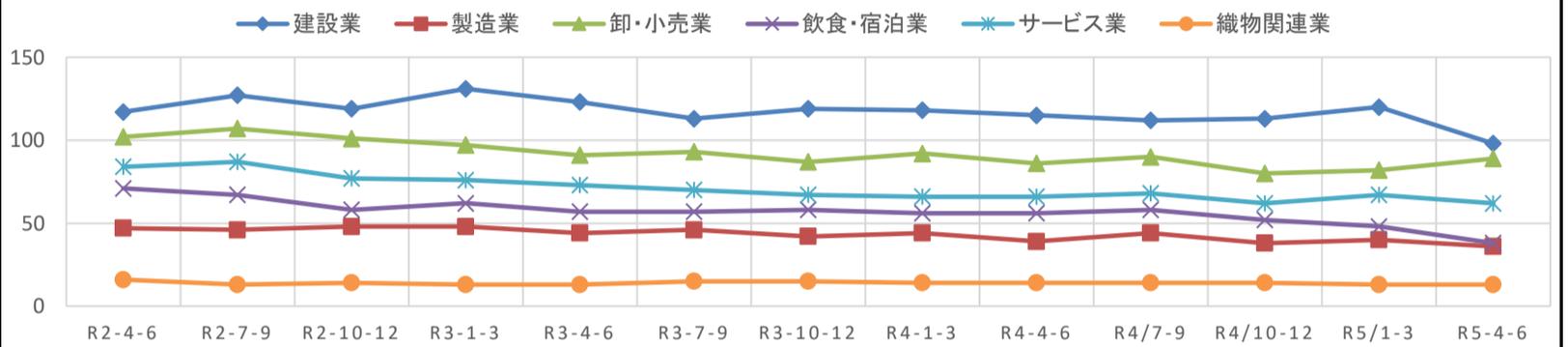
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

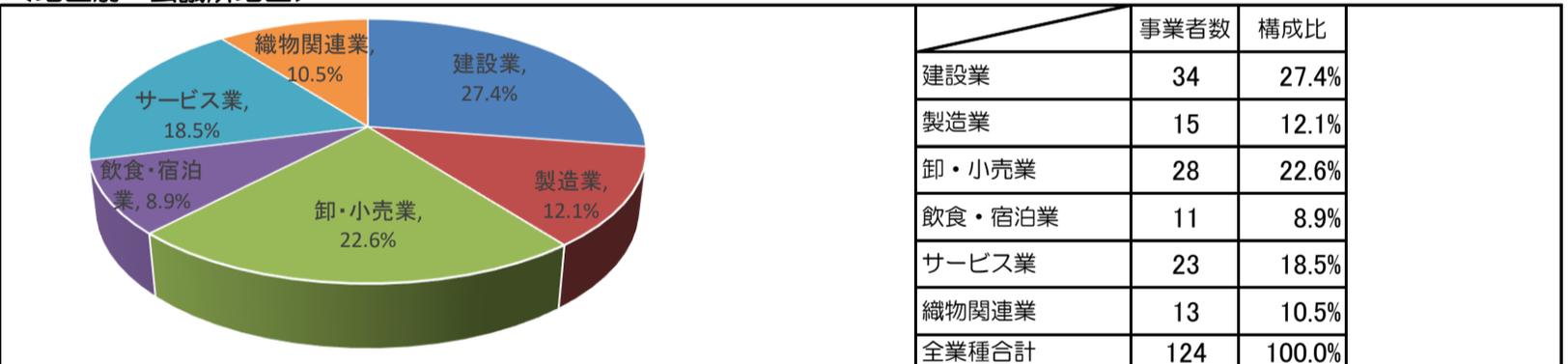


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

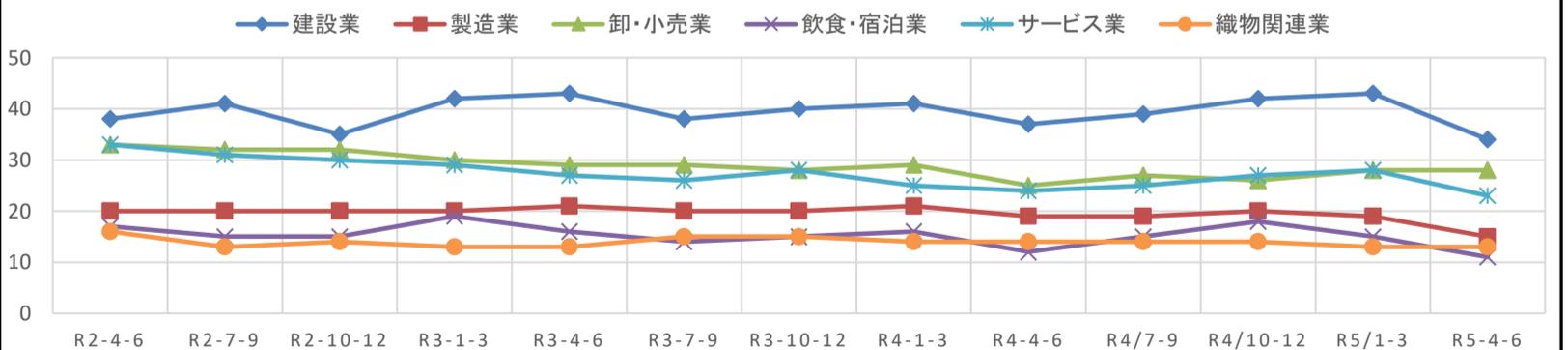


<コメント> 今回の調査は、十日町市内336事業所から回答を得られ、前回調査よりも34事業者減少している。建設業における減少が目立つ形となった。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



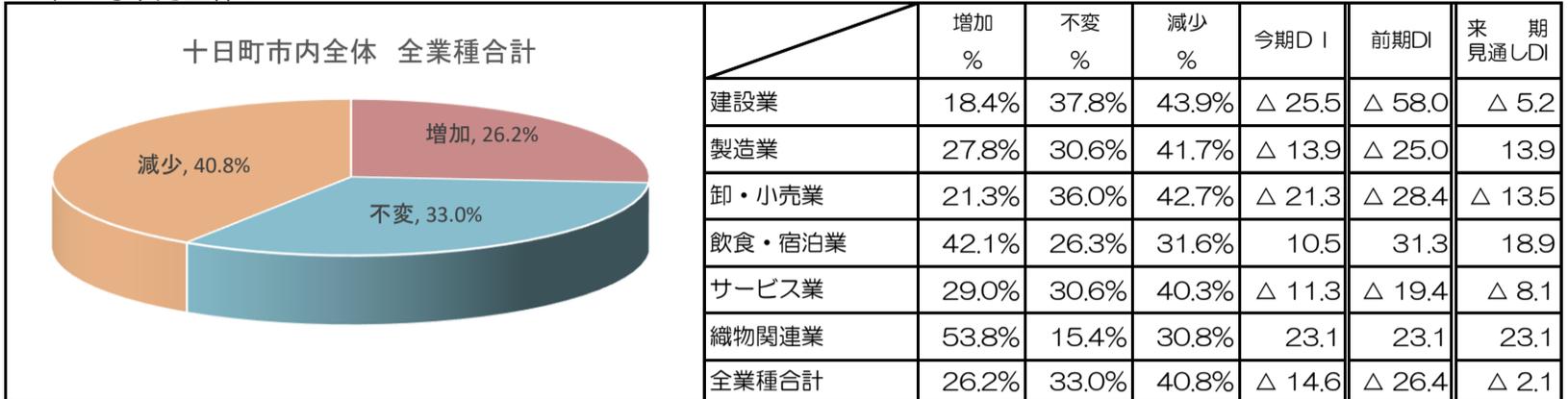
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布183事業所のうち124事業所からの回答があり、回収率67.8%前回に比べ減少した(前回: 回答事業所146事業所、回収率76.4%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

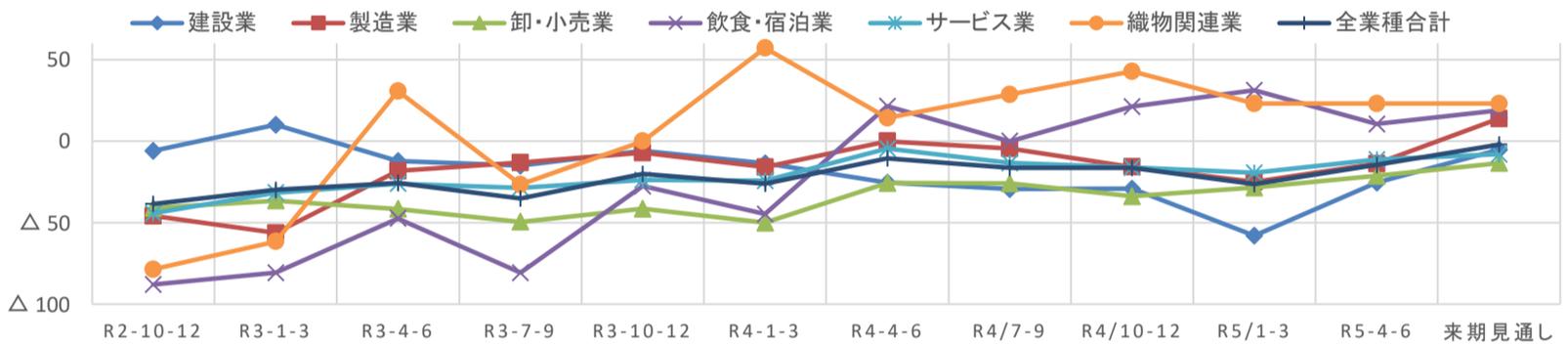
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

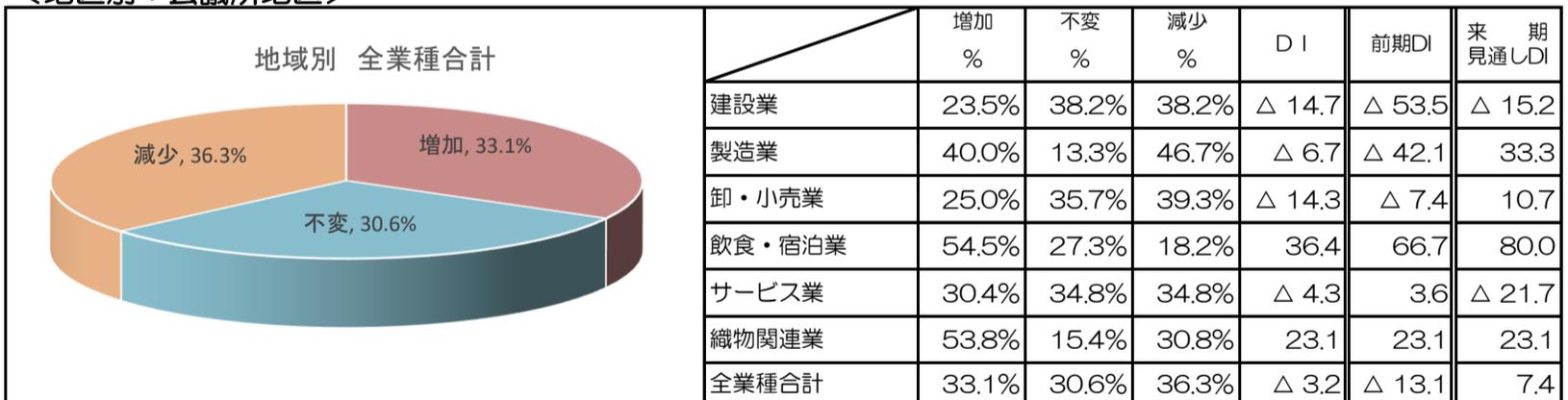


業種別売上の推移（市内全体）

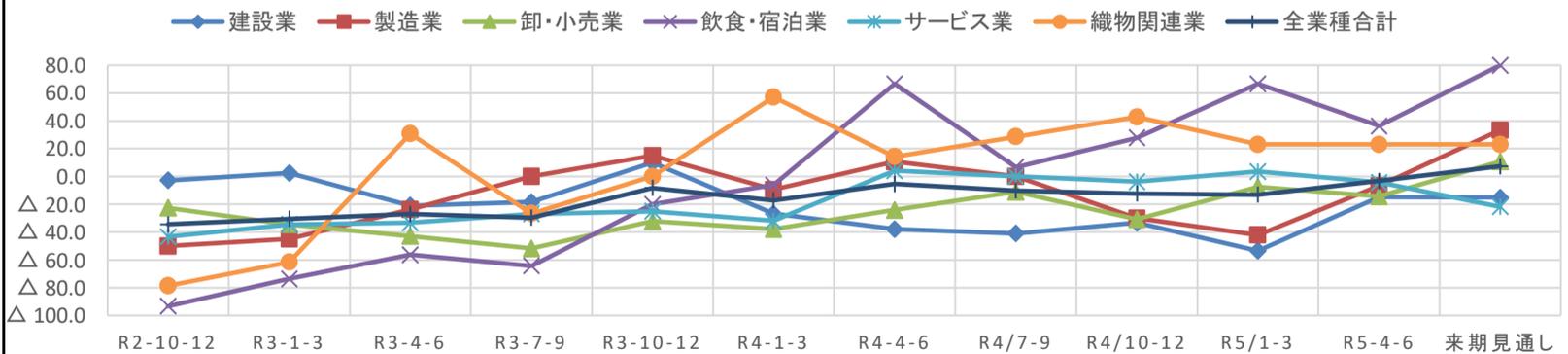


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△14.6ポイントで、前回調査時よりも11.8ポイント上昇となっている。飲食・宿泊業以外の業種でDI値が上昇した。来期見通しでは製造業以外の業種で上昇予想となっており、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

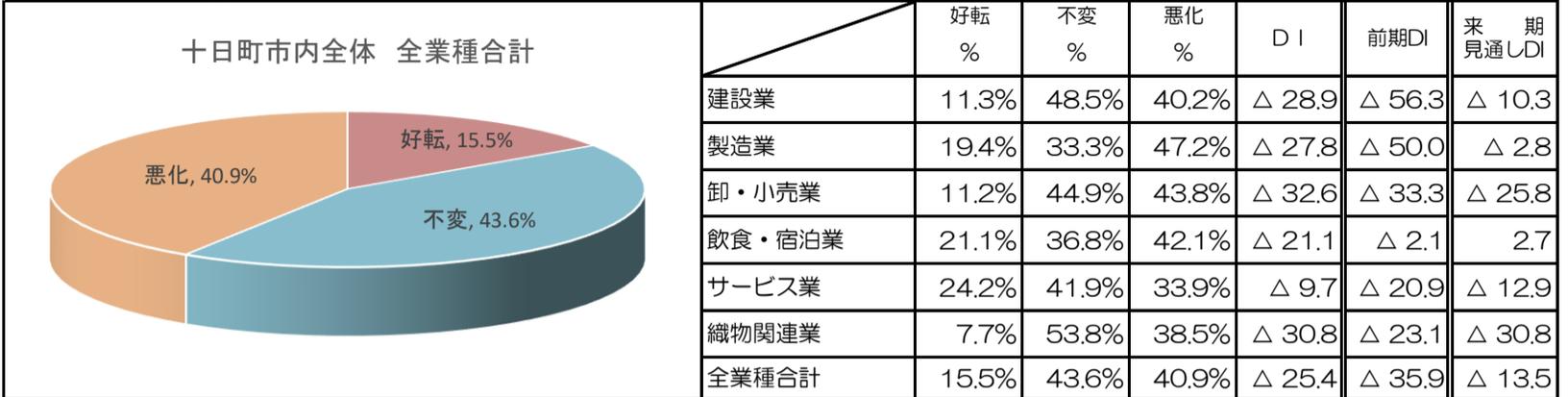


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△3.2ポイントで、前回調査時よりも9.9ポイント増加した。業種別に見ると、建設業と製造業が大きく増加し、サービス業も増加しているが、飲食・宿泊業と卸・小売業は減少した。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、建設業とサービス業で減少しているが、その他の業種では増加の見通し、全業種DI値においても増加の見通しである。

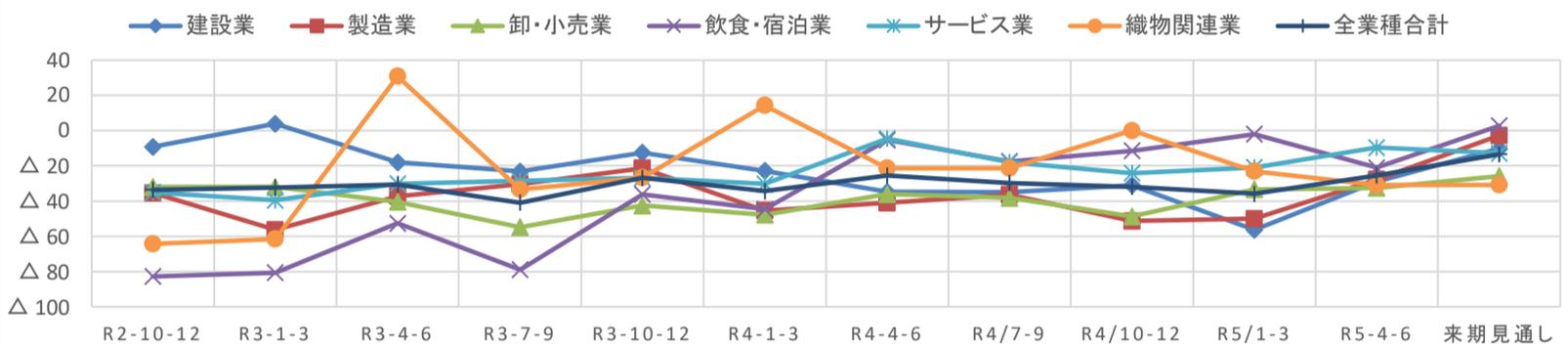
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

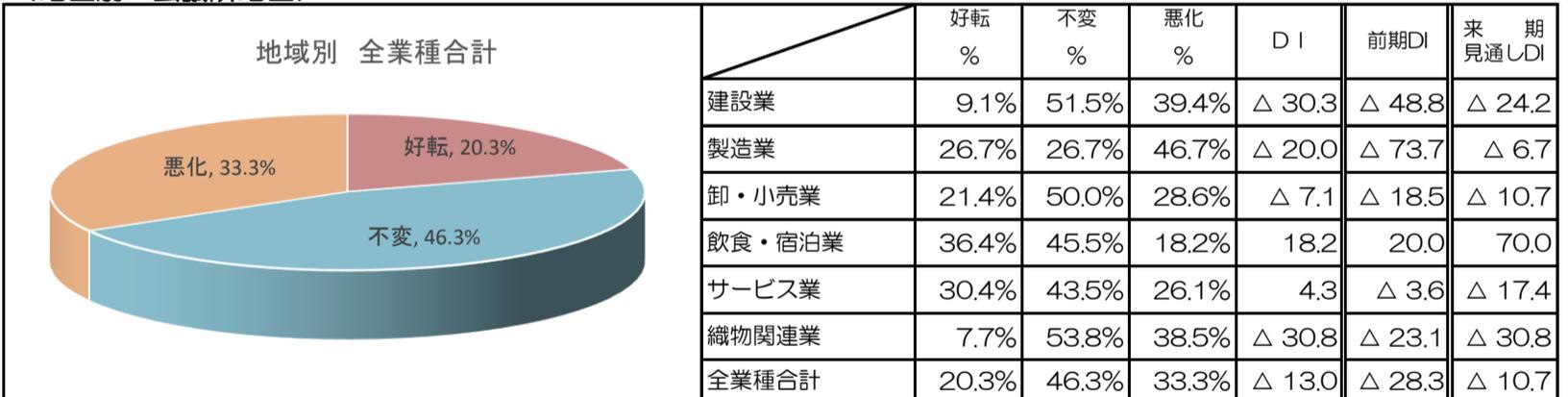


業種別採算の推移(市内全体)

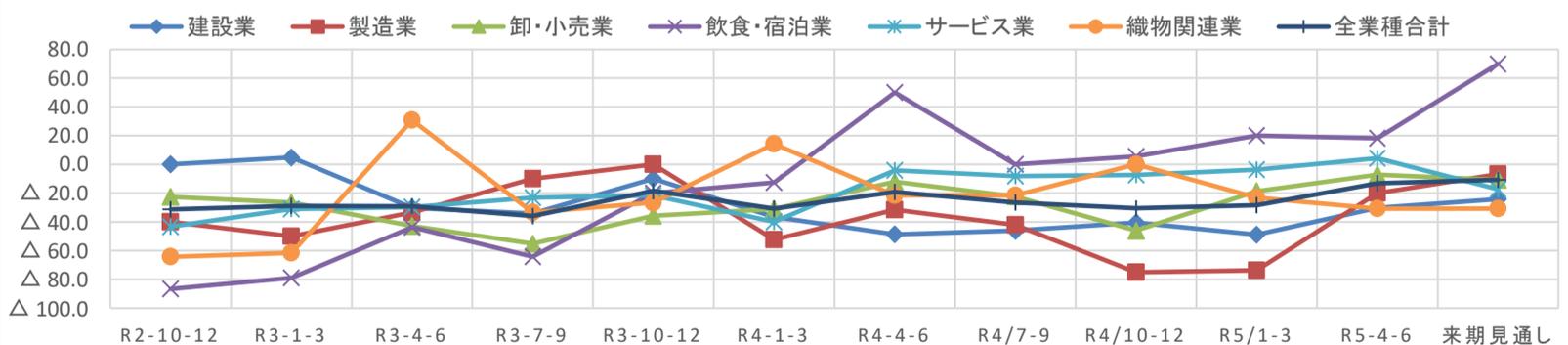


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△25.4ポイントで、前回調査より10.5ポイント好転している。特に建設業での好転が大きく、全体の数値を押し上げた。しかし、飲食・宿泊業では採算面で不安を抱える状況が示唆された。来期見通しでは、サービス業以外の業種において好転予測となり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

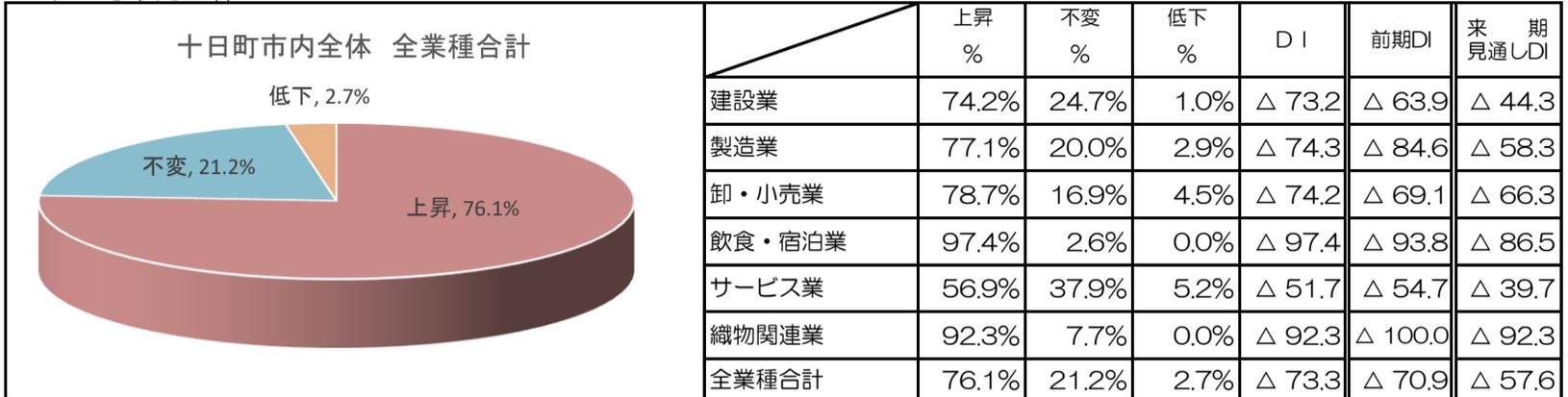


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△13.0ポイントで、前回調査時よりも15.3ポイント好転している。業種別には飲食・宿泊業と織物関連業が悪化しているが、その他の業種は好転し、なかでも製造業は大きく好転した。来期見通しでは、サービス業が悪化予測、織物関連業は横ばい予測となっているが、その他は好転予測で、全業種DI値においてもわずかに好転の見通しとなっている。

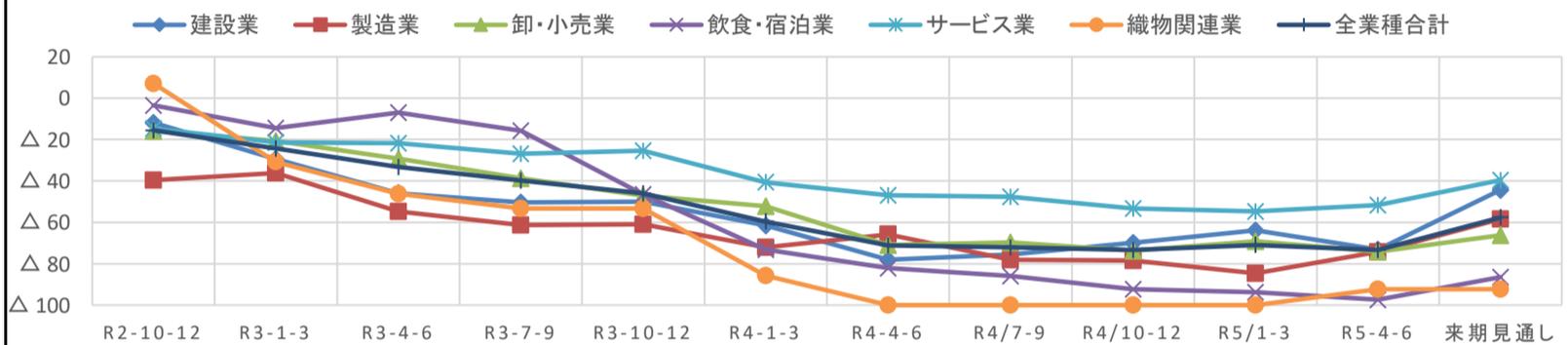
3. 仕入単価について

・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

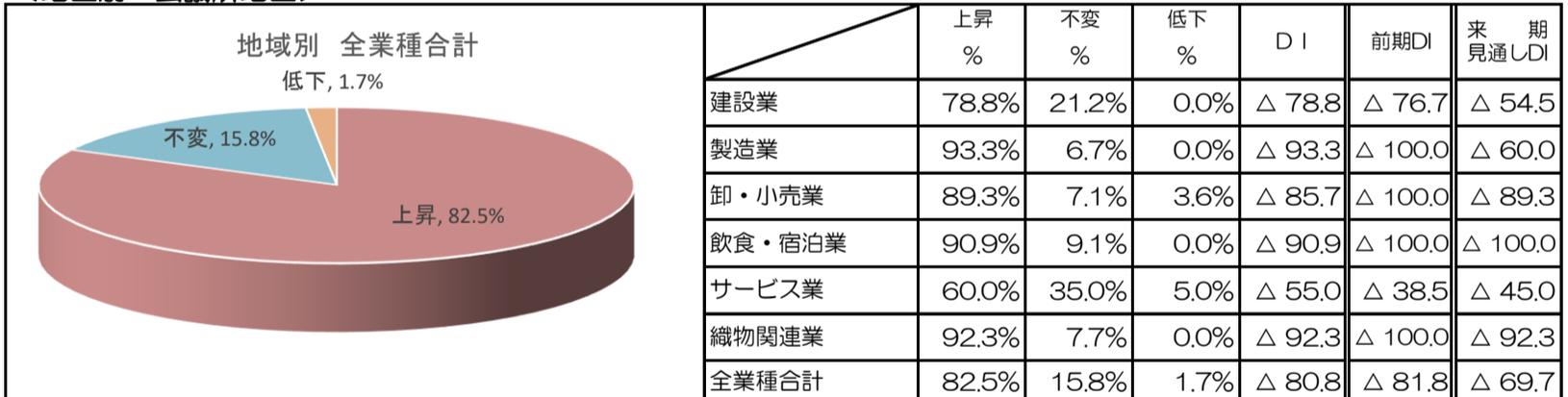


業種別仕入単価の推移(市内全体)

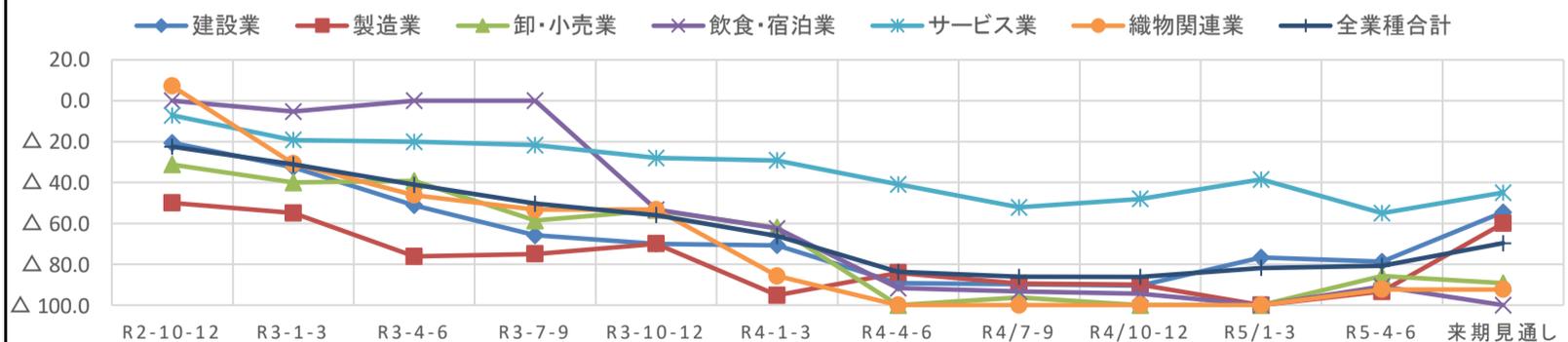


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△73.3ポイントで、前回調査時よりも2.4ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。製造業・サービス業以外の業種において上昇しており、原材料、資材、燃料等高騰の影響は未だ続いていると見られる。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

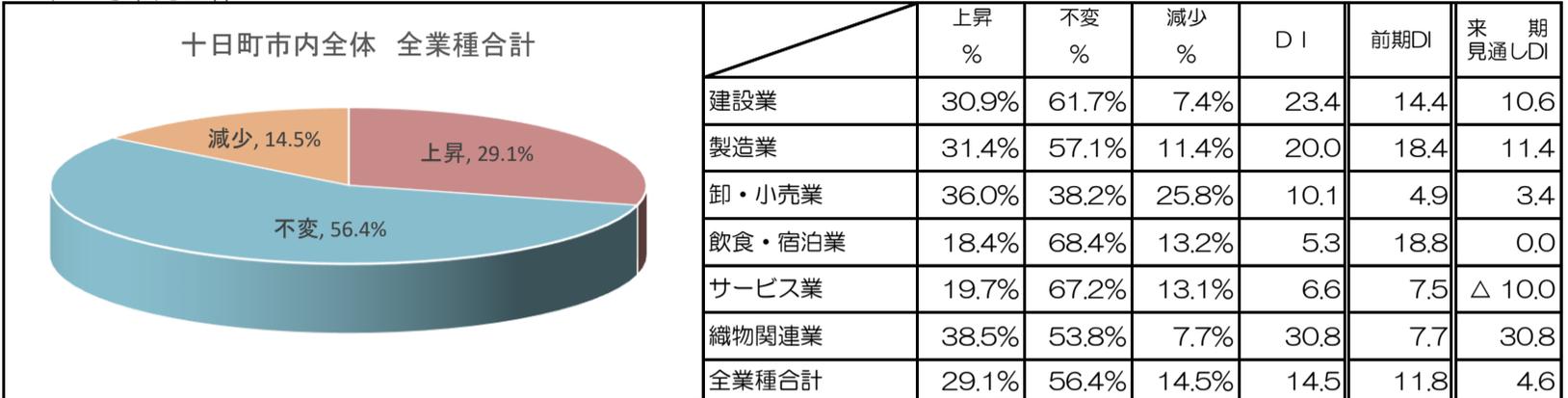


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△80.8ポイントで、前回とほぼ変わらず、原材料等の高騰の影響が続いている。仕入単価低下とする回答はわずかであり、依然として仕入単価上昇との回答が多くなっている。来期見通しでは織物関連業、卸・小売業、飲食・宿泊業をのぞいて仕入単価低下の予測、全業種DI値でも仕入単価低下の見通しとなっている。

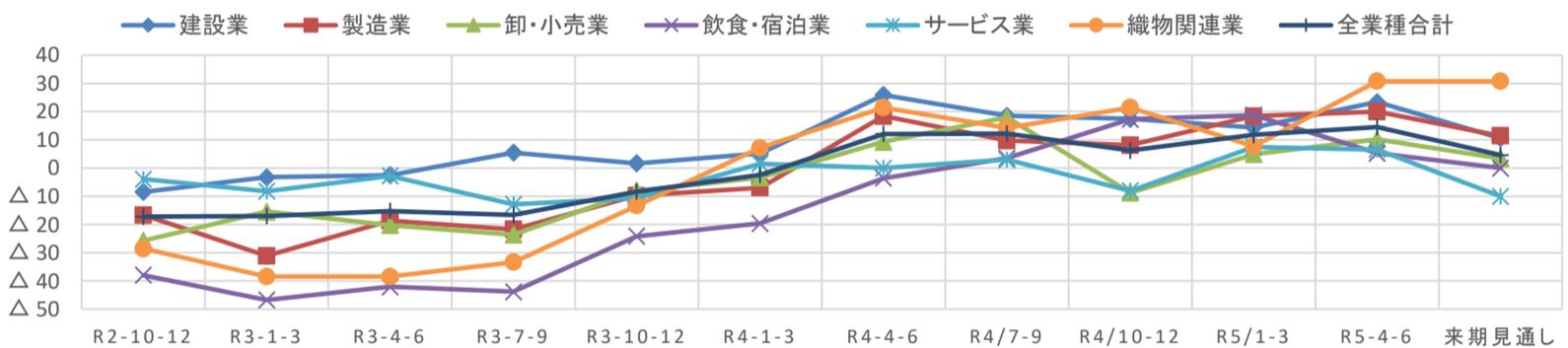
4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

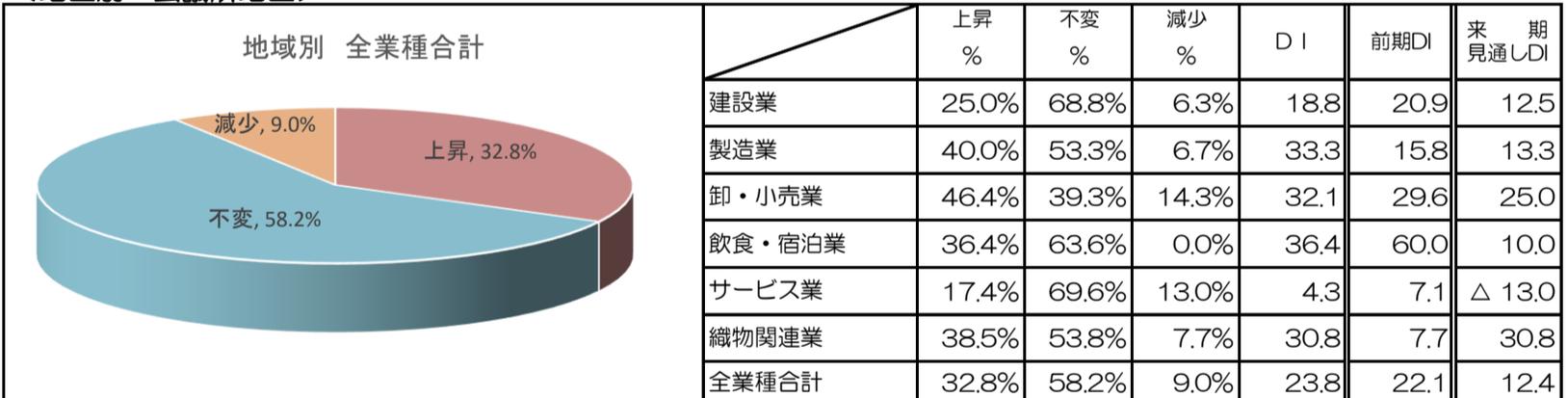


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

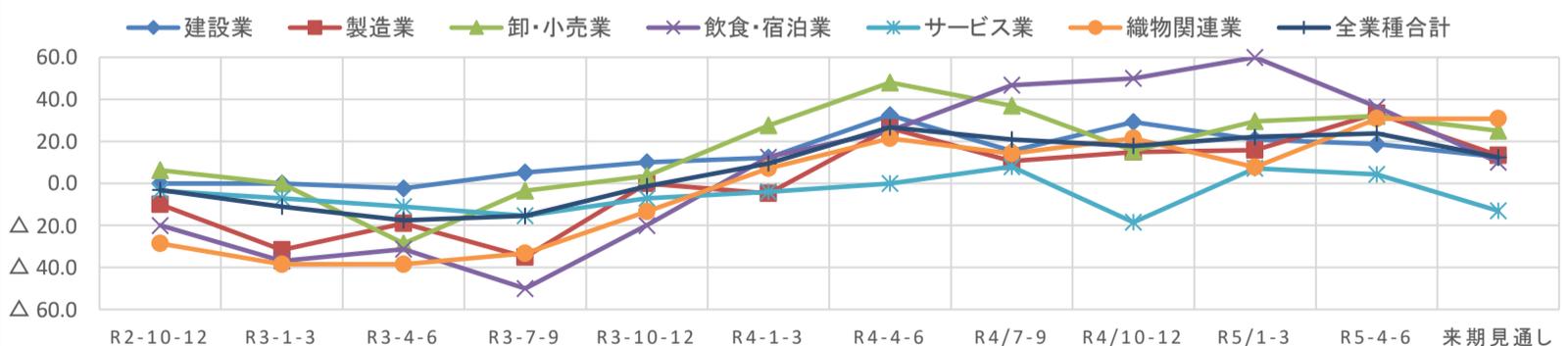


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で14.5ポイント、前回調査時より2.7ポイント上昇している。飲食・宿泊業、サービス業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、全業種で低下予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

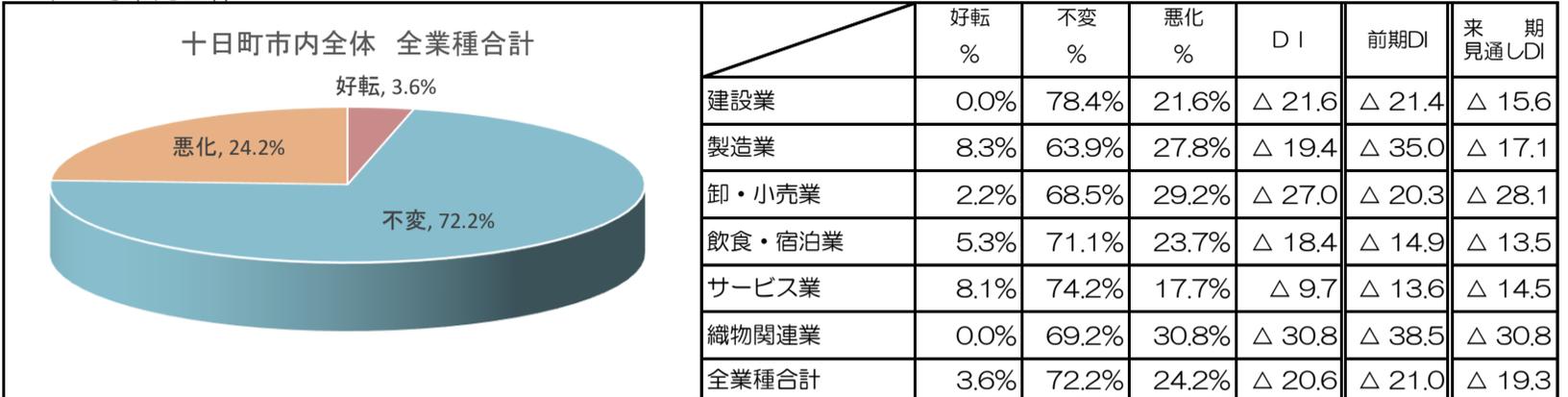


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が23.8ポイントで、前回調査時よりも1.7ポイント上昇している。業種別に見ると、建設業、飲食・宿泊業、サービス業は低下、その他の業種は上昇している。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は低下の見通しとなっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

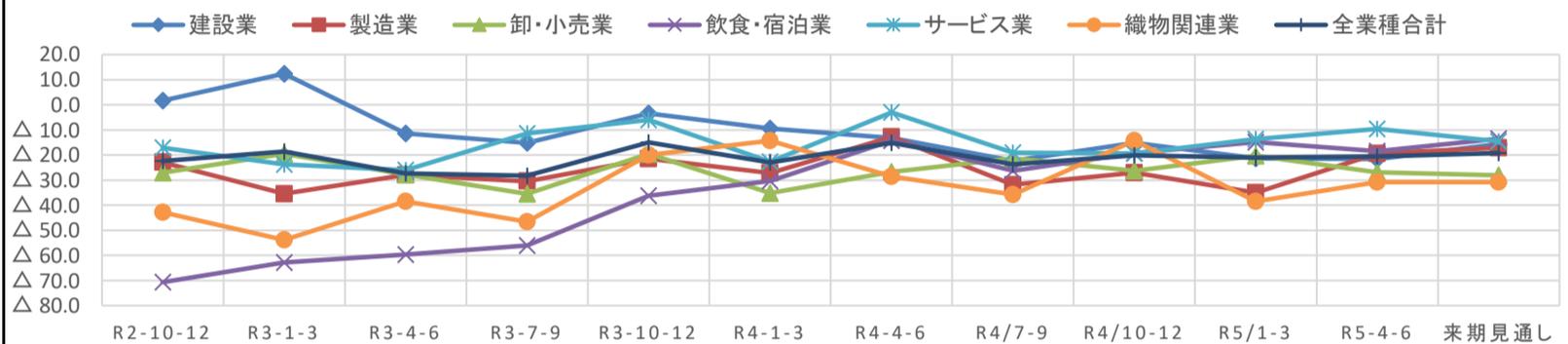
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

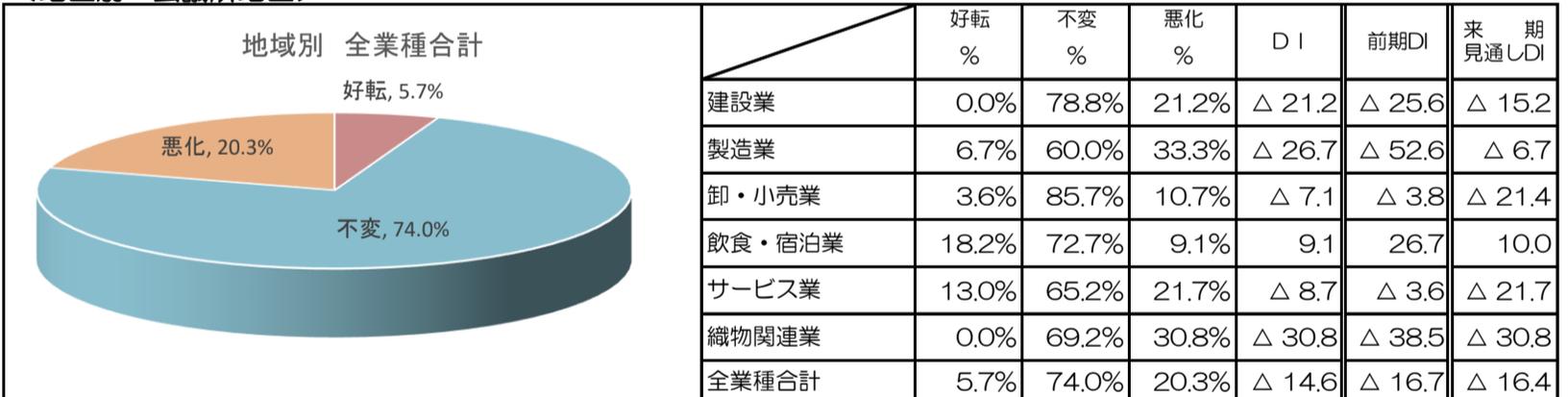


業種別資金繰りの推移(市内全体)

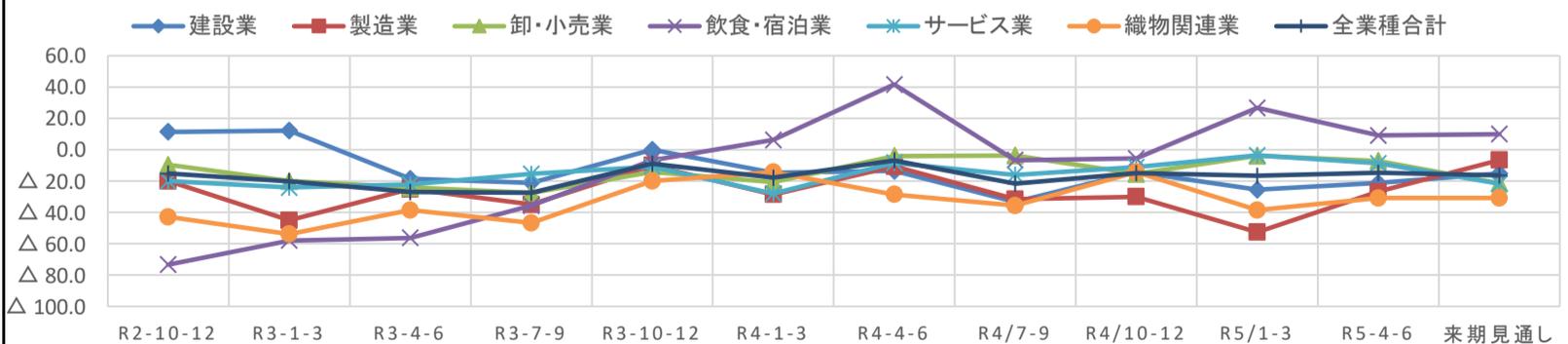


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△20.6ポイントで、前回調査時より0.4ポイント好転している。特に製造業での好転の割合が大きかった。来期見通しとしては、建設業、飲食・宿泊業以外の業種で悪化予測となるものの、全業種DI値については改善する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

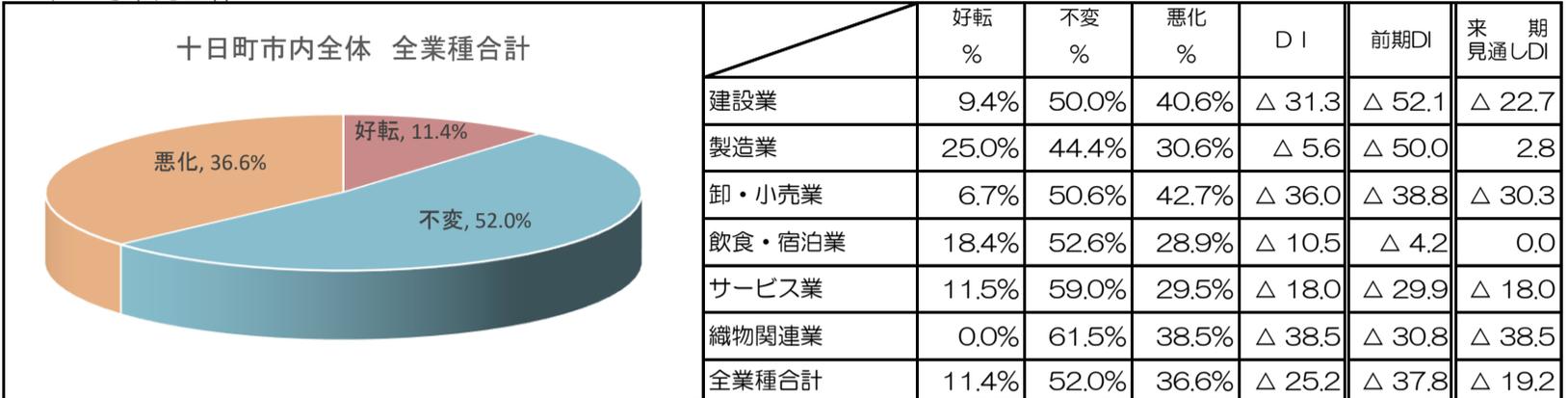


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△14.6ポイントで、前回調査時よりも2.1ポイント好転している。業種別に見ると、建設業、製造業、織物関連業で好転しているが、その他の業種は悪化となった。来期見通しでは卸・小売業とサービス業が悪化予測、織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は好転の見通しとなっており、全業種DI値においては悪化の見通しである。

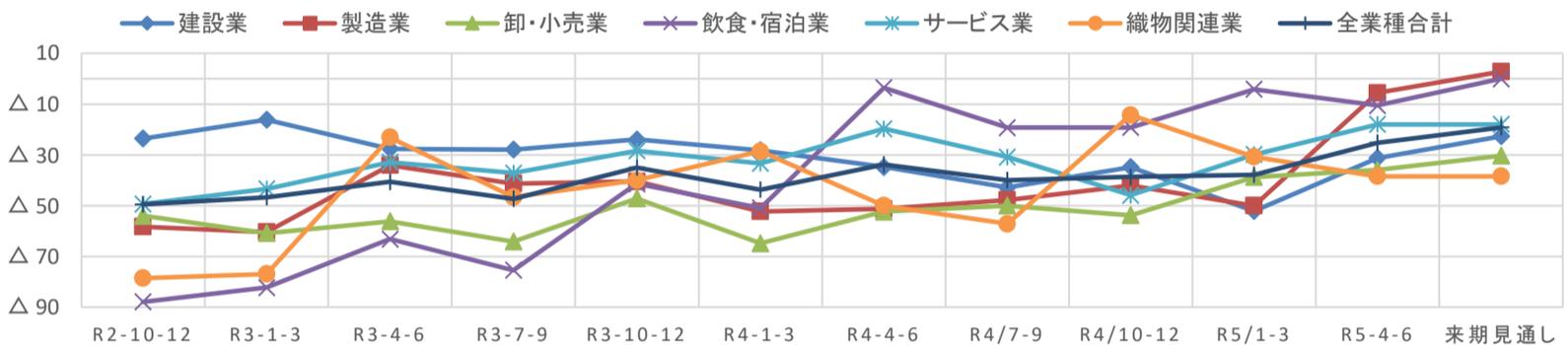
6. 景況判断について

・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

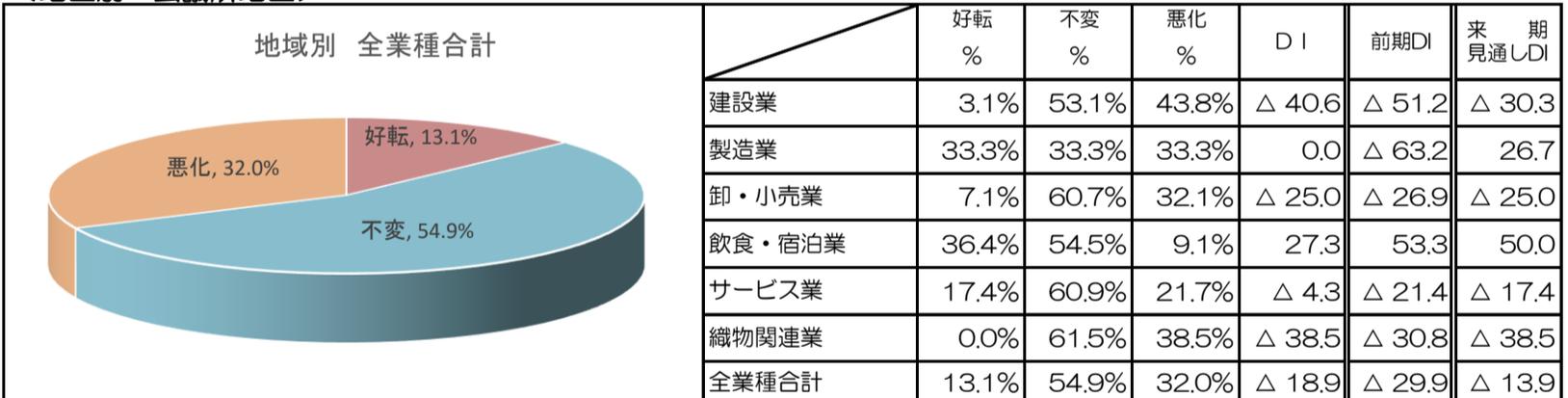


業種別景況判断の推移(市内全体)

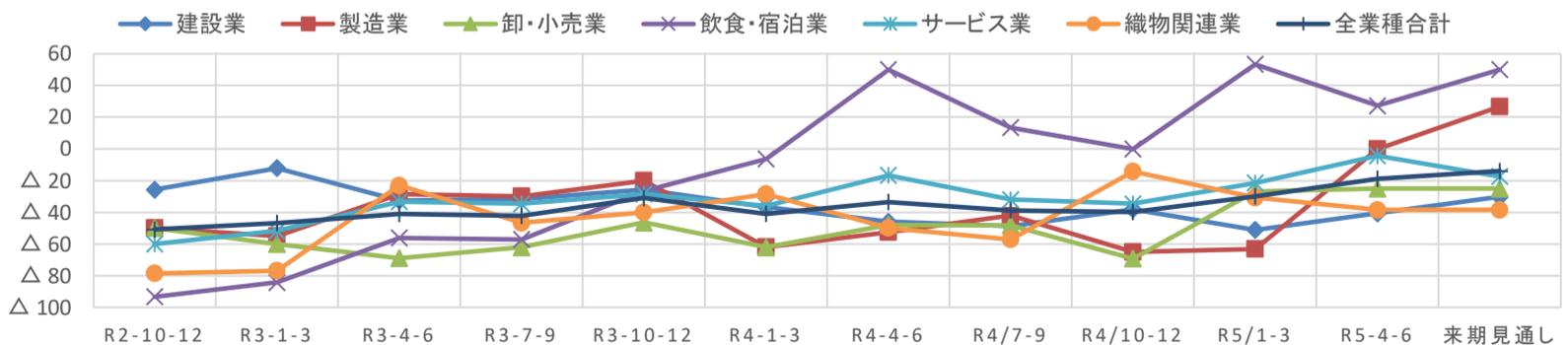


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△25.2ポイントで、前回調査時よりも12.6ポイント好転している。飲食・宿泊業では厳しい見方となっているが、その他の業種では好転となった。来期見通しは、サービス業以外の業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

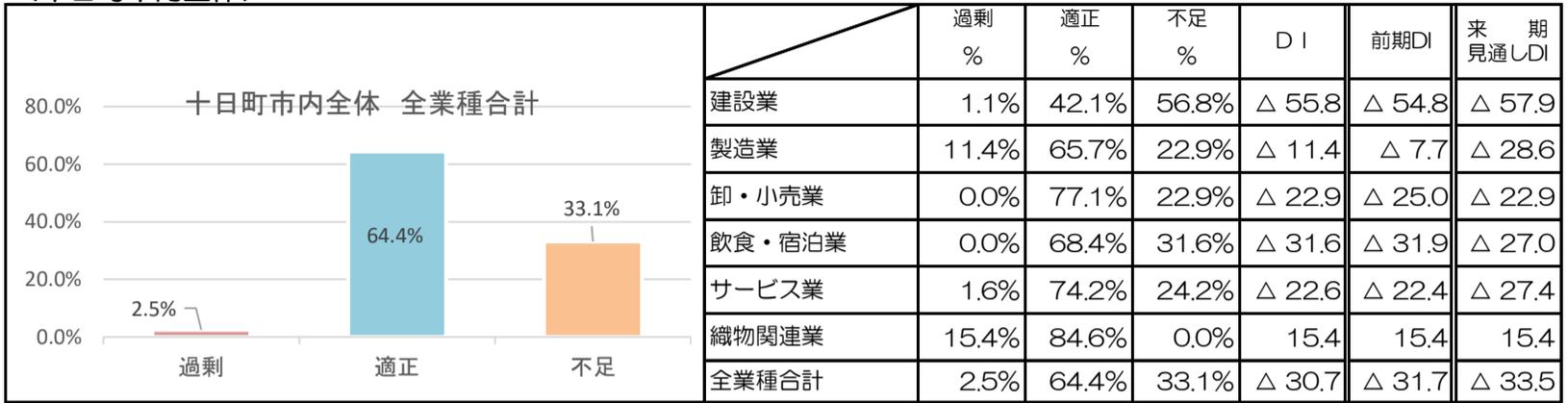


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△18.9ポイントで、前回調査時よりも11.0ポイント好転している。業種別に見ると、飲食・宿泊業と織物関連業が悪化しているが、その他の業種は好転となった。来期見通しでは卸・小売業と織物関連業が横ばい、サービス業は悪化予測だが、その他の業種は好転の見通しとなっており、全業種DI値においても好転の見通しである。

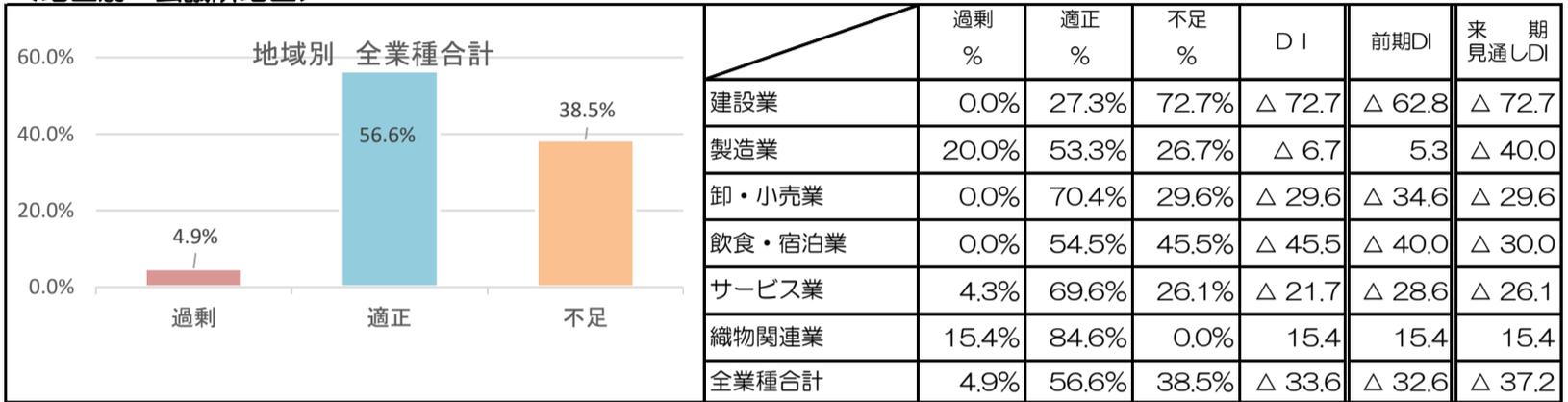
7. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



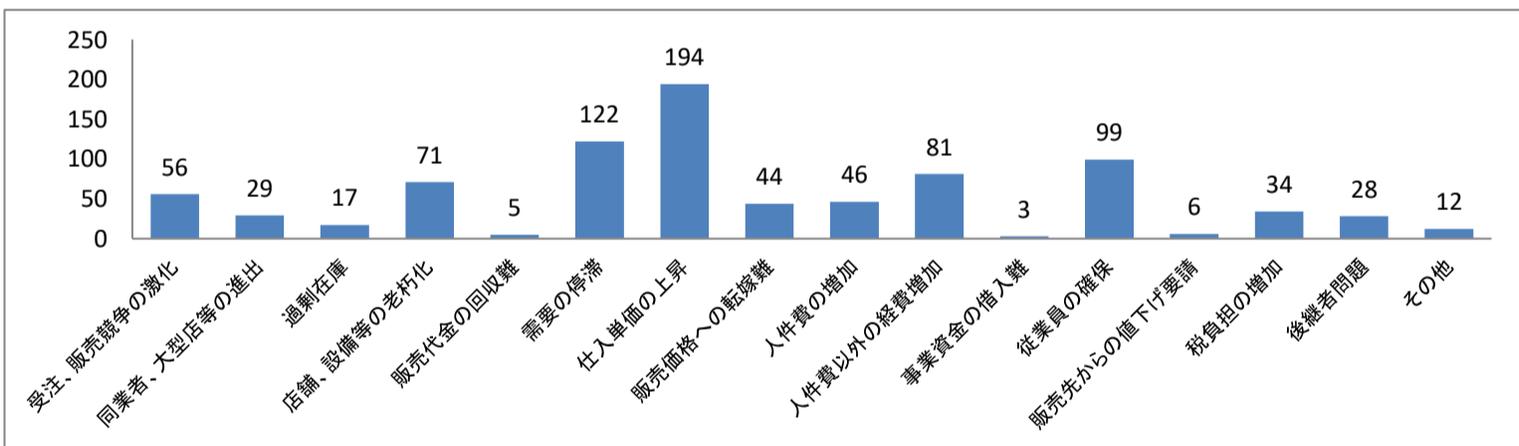
<地区別：会議所地区>



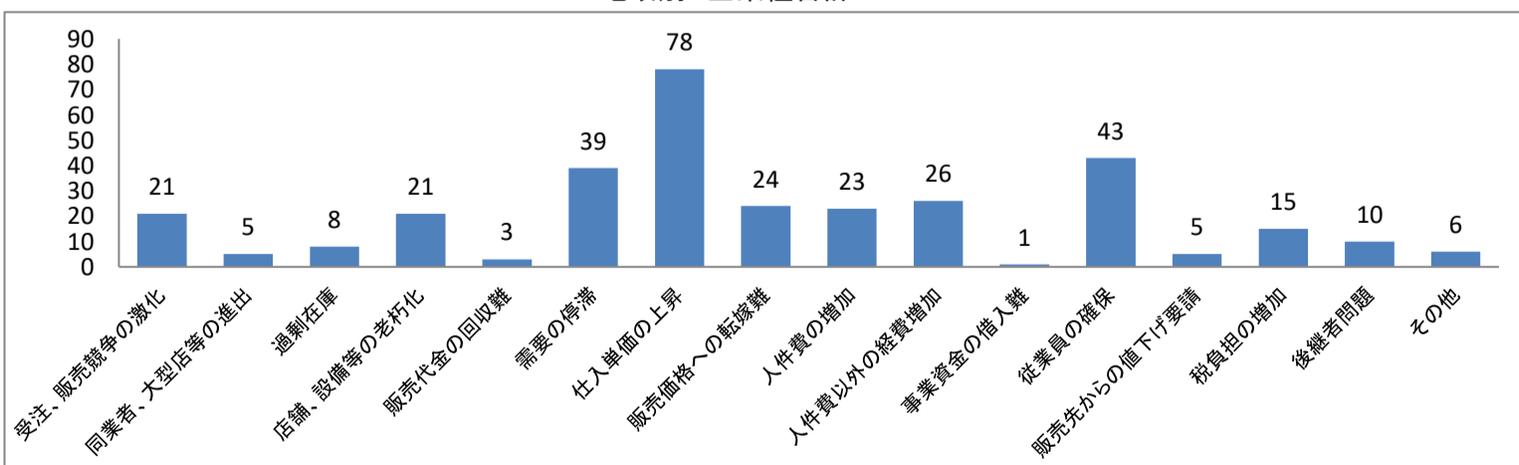
<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が1.7%減少、適正回答が4.6%増加、不足回答が2.9%減少している。会議所地区の状況は、全業種合計では適正回答が一番多いものの、建設業においては72.7%が不足と回答している。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、前回調査と主要な3項目は同じであった。会議所地区の経営上の問題も市内全体と同様で、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となった。

9. 地区の景況概要

- ・ 4月～6月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、販売(客)単価がわずかに悪化し、仕入単価は前期と同じくわずかに上昇傾向。その他は好転した。来期見通しにおいては、売上と販売(客)単価は減少の見通しとなったがその他は好転の見通し。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されている。依然として従業員の確保が課題となっている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、全ての項目で好転となったが、仕入単価は上昇回答がほとんどとなっている。来期見通しにおいては販売(客)単価と資金繰りが悪化予測だが、その他は好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上と資金繰りが悪化となったが、その他の項目は好転となった。来期見通しにおいては景況判断を除いた項目が悪化の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「店舗、設備等の老朽化」が多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、ほぼ全ての項目が悪化し、仕入単価についてもほとんどの回答が上昇となった。来期見通しにおいては仕入単価はすべて上昇予測、販売(客)単価は低下の見通しだが、その他は好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「税負担の増加」の順に多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、採算と景況判断の項目で好転となり、その他は悪化した。来期見通しにおいては仕入単価を除いて全ての項目で悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、売上は横ばい、採算と景況判断が悪化し、その他の項目は好転した。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」が多く回答されている。